

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2007年12月14日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>アセアンマザーファンド</b> アセアン加盟国の取引所に上場している株式
当ファンドの運用方法	■主としてアセアン加盟国の取引所に上場している株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ■銘柄選定にあたっては、各国・地域、各業種等において競争力があり、かつ財務健全性を備えた優良銘柄を中心に厳選し、投資します。 ■外貨建資産については、原則として、対円ででの為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <b>アセアンマザーファンド</b> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回（原則として毎年6月および12月の13日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の配当等収益と有価証券売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# アセアン成長国株 ファンド

## 【運用報告書（全体版）】

（2021年12月14日から2022年6月13日まで）

第 **29** 期  
決算日 2022年6月13日

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## アセアン成長国株ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入率	投資信託比率	純資産額
	(分配落)	税金	騰落率	MSCIオールカントリー・アセアンインデックス (円ベース)	騰落率			
25期(2020年6月15日)	円 7,765	円 0	% △18.3	円 85.29	% △17.6	% 89.8	% 3.9	百万円 819
26期(2020年12月14日)	円 8,312	円 0	% 7.0	円 92.35	% 8.3	% 91.4	% 2.0	百万円 880
27期(2021年6月14日)	円 9,034	円 0	% 8.7	円 97.82	% 5.9	% 93.0	—	百万円 891
28期(2021年12月13日)	円 9,253	円 0	% 2.4	円 95.61	% △2.3	% 91.7	—	百万円 878
29期(2022年6月13日)	円 10,004	円 340	% 11.8	円 105.45	% 10.3	% 93.6	—	百万円 974

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数)		株式組入率	投資信託比率
	騰落率	騰落率	MSCIオールカントリー・アセアンインデックス (円ベース)	騰落率		
(期首) 2021年12月13日	円 9,253	% —	円 95.61	% —	% 91.7	% —
12月末	円 9,446	% 2.1	円 97.92	% 2.4	% 92.5	% —
2022年1月末	円 9,407	% 1.7	円 97.54	% 2.0	% 91.4	% —
2月末	円 9,692	% 4.7	円 100.73	% 5.4	% 86.6	% —
3月末	円 10,448	% 12.9	円 106.79	% 11.7	% 90.3	% —
4月末	円 10,481	% 13.3	円 106.38	% 11.3	% 95.9	% —
5月末	円 10,071	% 8.8	円 103.84	% 8.6	% 96.0	% —
(期末) 2022年6月13日	円 10,344	% 11.8	円 105.45	% 10.3	% 93.6	% —

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

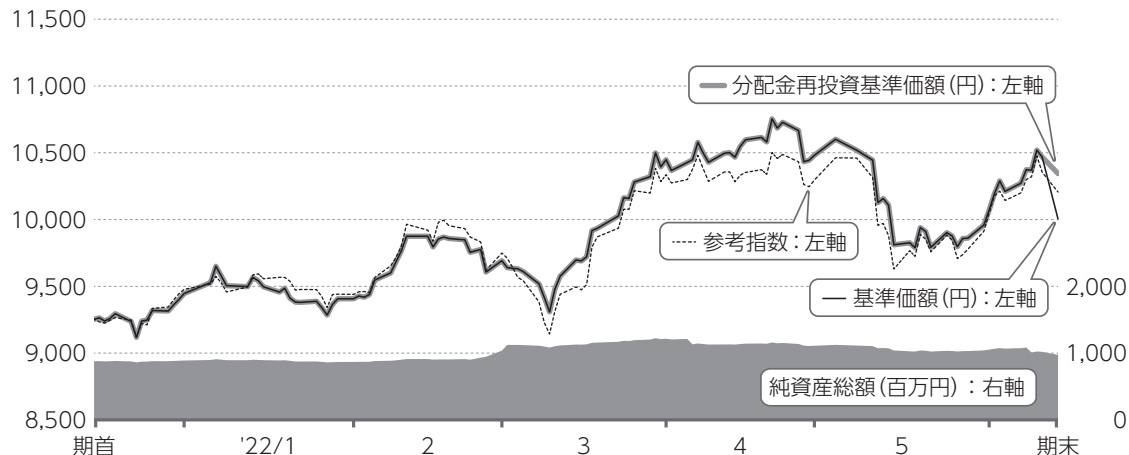
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年12月14日から2022年6月13日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,253円
期末	10,004円 (既払分配金340円(税引前))
騰落率	+11.8% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・アセアンインデックス(円ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2021年12月14日から2022年6月13日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、アセアン加盟国の取引所の上場株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- 期初から2022年4月上旬まで、東南アジア各国で経済活動の再開に伴う景気回復期待などから株式市場が総じて上昇したこと
- 期間を通して、保有ウエイトの大きいインドネシアやタイ、シンガポールの株式市場が上昇したこと
- 期間を通して、投資対象市場の通貨が円に対して上昇したこと

#### 下落要因

- 4月下旬から5月中旬にかけて、米国の利上げやスタグフレーション(景気停滞とインフレの併存)懸念の高まりで世界的に株式市場が下落したこと

### 投資環境について(2021年12月14日から2022年6月13日まで)

アセアン株式市場(現地通貨建て)は、インドネシアやタイ、シンガポールなどが上昇する一方で、フィリピンなどが下落するなど、まちまちな動きとなりました。為替市場では投資対象市場の通貨は円に対して上昇しました。

#### 株式市場

アセアン市場はまちまちな動きとなりました。インドネシアやシンガポールなどが上昇、ベトナムやフィリピンなどが下落しました。

期間において、米欧や中国の株式市場は下落しました。米国の金融政策が引き締めへと転換したこと、中国のコロナウイルスの感染再拡大などによる景気減速、ロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの高まりや資源価格の上昇など、世界の株式市場を取り巻く環境は厳しいものとなったことが背景です。

アセアン市場は、期初から景気回復期待を背景に相対的に堅調でしたが、4月下旬以降、世界の株式市場の混乱を嫌気して下落しました。その後、米国の金利上昇が落ち着いた5月中旬以降期末にかけては総じて上昇しました。

タイやシンガポールは、米国などの株式市場に連動して下げる局面もありましたが、海外渡航者の受け入れ規制の緩和など新型コロナウイルスとの共生を目指す政策を打ち出したことがプラス材料となり、小幅に上昇

しました。

インドネシアは、経済活動の再開期待に加えてロシアのウクライナ侵攻などを背景とした商品市況上昇の恩恵が大きいとの見方もあり、上昇しました。一方、ベトナムは4月上旬までは、経済活動の再開で堅調に推移していましたが、5月以降は、不動産デベロッパー大手の不正取引疑惑などから下落に転じました。

#### 為替市場

アセアン市場の通貨は、円に対して上昇しました。

米ドル・円は、期初からF R B(米連邦準備制度理事会)の金融政策の正常化により、堅調に推移しました。3月中旬以降は、米国の政策金利見通しが大幅に引き上げられたことや、日銀が金利上昇を抑制するスタンスを示したことなどから日米金利差がさらに拡大するとの観測が強まり、期末にかけて円売り・米ドル買いが加速しました。

アセアン市場の主要通貨も概ね米ドル・円に沿った動きとなり、期間を通じて対円で上昇しました。

ポートフォリオについて(2021年12月14日から2022年6月13日まで)

### 当ファンド

当ファンドは、「アセアンマザーファンド」への投資を通じて、アセアン加盟国の取引所の上場株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

### アセアンマザーファンド

#### ●株式組入比率

株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

#### ●国別配分

期末時点においては、シンガポール、タイに加えてインドネシアの組入比率が高いポートフォリオとしました。景気回復に勢いのあるインドネシアと長期的な成長余地の大きいベトナムのウエイトを増やしました。

#### ●個別銘柄

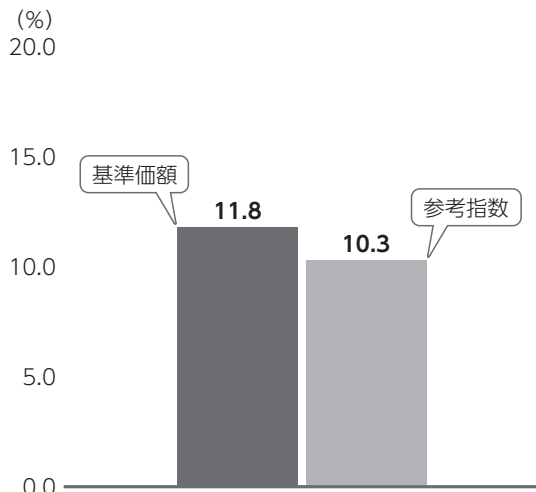
マレーシアの優良銀行であるホンリョン銀行を購入しました。成都銀行への出資を通じて、中国の景気回復の恩恵が期待できます。中期的に製造拠点としての成長力があるベトナムでは、世界的な景気回復により業績の拡大が期待できるジェマディプト(港湾・物流)を購入しました。インドネシアでは総合

医薬品メーカーとして経済活動の再開による恩恵が期待できるカルベ・ファルマを購入しました。

一方で投入価格上昇などの影響で収益性悪化懸念があるシンガポールの電子部品製造のフレンケン・グループやフィリピンのD&Lインダストリーズなどを売却しました。また、中国のロックダウン(都市封鎖)による供給網混乱の影響が懸念されるマレーシアの半導体製造のイナリ・アマートンを売却しました。

## ベンチマークとの差異について(2021年12月14日から2022年6月13日まで)

## 基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・アセアンインデックス(円ベース)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 分配金について(2021年12月14日から2022年6月13日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第29期
当期分配金	340
(対基準価額比率)	(3.29%)
当期の収益	162
当期の収益以外	177
翌期繰越分配対象額	2,392

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「アセアンマザーファンド」を通じた運用を継続します。マザーファンドの組入比率は高位に保つ予定です。

### アセアンマザーファンド

米国のインフレと金利の見通し、ウクライナ情勢の余波、中国経済の下振れ懸念などのリスク要因は容易に払拭されないため、株式市場は引き続き値動きの荒い展開が続くと予想します。もっとも対外収支の健全性を踏まえると、米国の利上げに伴う資金流出リスクは小さいと考えます。影響の大きい中国経

済についても、上海のロックダウンの影響は最悪期を過ぎたことに加えて、中国政府は景気対策を強化していることを考えると、今後は徐々に持ち直す可能性が高いとみています。アセアン地域の企業業績は下方修正のリスクはあるものの、全体としては回復基調が続くと予想しています。株式市場もそれに沿った動きを見込みます。

国別配分については、景気回復に勢いのあるインドネシアと長期的な成長余地の大きいベトナムを相対的に強気な投資対象市場とします。銘柄選択においては、競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンス（企業統治）を備えた銘柄を厳選いたします。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



## アセアン成長国株ファンド

### 1万口当たりの費用明細 (2021年12月14日から2022年6月13日まで)

項 目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信 託 報 酬</b>	<b>94円</b>	<b>0.949%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> <b>期中の平均基準価額は9,883円です。</b>
(投 信 会 社)	(46)	(0.466)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.439)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.044)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>20</b>	<b>0.199</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(20)	(0.199)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>5</b>	<b>0.055</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(5)	(0.055)	
(公 社 債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
<b>(d) そ の 他 費 用</b>	<b>29</b>	<b>0.292</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b>
(保 管 費 用)	(29)	(0.289)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	そ の 他: 信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合 計</b>	<b>148</b>	<b>1.495</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

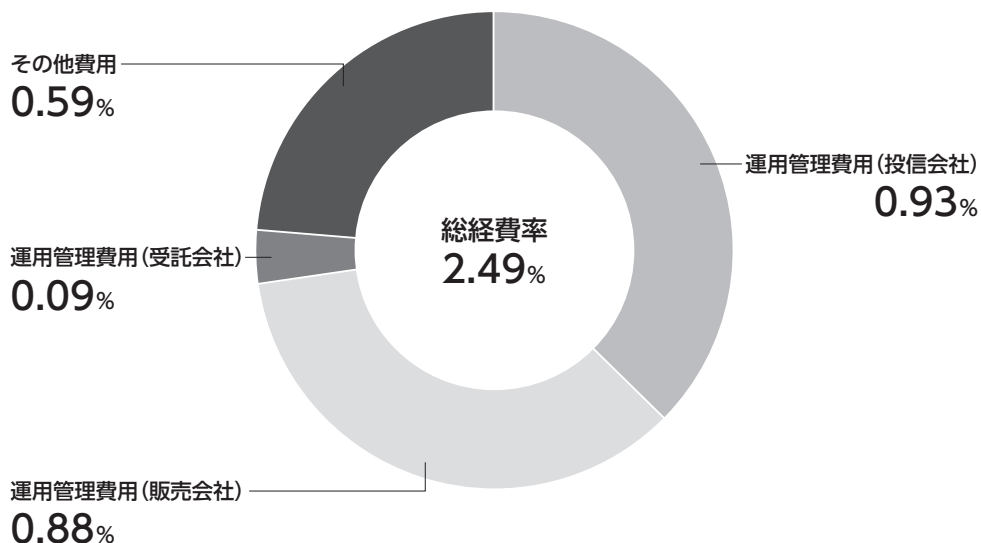
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.49%です。

## アセアン成長国株ファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年12月14日から2022年6月13日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセアンマザーファンド	千口 173,506	千円 269,000	千口 166,634	千円 275,000

### ■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年12月14日から2022年6月13日まで)

項 目	当 期	
	アセアンマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	629,219千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	947,384千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.66	

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2021年12月14日から2022年6月13日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年12月14日から2022年6月13日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2022年6月13日現在)

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
アセアンマザーファンド	千口 551,783	千口 558,655	千口 558,655	千円 934,574

※アセアンマザーファンドの期末の受益権総口数は558,655,074口です。

### ■ 投資信託財産の構成

(2022年6月13日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
アセアンマザーファンド	千円 934,574	%
コール・ローン等、その他	83,019	8.2
投資信託財産総額	1,017,593	100.0

※アセアンマザーファンドにおいて、期末における外貨建資産(934,470千円)の投資信託財産総額(934,592千円)に対する比率は100.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=135.00円、1シンガポール・ドル=97.05円、1フィリピン・ペソ=2.548円、100インドネシア・ルピア=0.93円、1マレーシア・リンギット=30.602円、1タイ・バーツ=3.87円、100ベトナム・ドン=0.582円です。

# アセアン成長国株ファンド

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年6月13日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,017,593,406円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	83,019,333
アセアンマザーファンド(評価額)	934,574,073
(B) 負 債	43,517,204
未 払 収 益 分 配 金	33,106,662
未 払 解 約 金	733,360
未 払 信 託 報 酬	9,643,686
そ の 他 未 払 費 用	33,496
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	974,076,202
元 本	973,725,379
次 期 繰 越 損 益 金	350,823
(D) 受 益 権 総 口 数	973,725,379口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 ( C / D )	10,004円

※当期における期首元本額949,694,679円、期中追加設定元本額309,853,038円、期中一部解約元本額285,822,338円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2021年12月14日 至2022年6月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 4,161円
受 取 利 息	1,075
支 払 利 息	△ 5,236
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	102,993,667
売 買 益	125,834,261
売 買 損	△ 22,840,594
(C) 信 託 報 酬 等	△ 9,677,512
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	93,311,994
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 18,977,417
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 40,877,092
( 配 当 等 相 当 額 )	( 186,632,330 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( △227,509,422 )
(G) 合 計 ( D + E + F )	33,457,485
(H) 収 益 分 配 金	△ 33,106,662
次 期 繰 越 損 益 金 ( G + H )	350,823
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 40,877,092
( 配 当 等 相 当 額 )	( 187,244,257 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( △228,121,349 )
分 配 準 備 積 立 金	45,754,959
繰 越 損 益 金	△ 4,527,044

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するため要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は2,513,461円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,854,883円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	187,244,257
(d) 分配準備積立金	63,006,738
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	266,105,878
1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	2,732.86
(f) 分配金	33,106,662
1 万 口 当 たり 分 配 金	340

## ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 たり 分 配 金 ( 税 引 前 )	当 期
	340円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# アセアンマザーファンド

第14期（2020年7月14日から2021年7月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2007年9月20日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主としてアセアン加盟国の取引所上場株式（それに準ずるものを含みます。）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>・運用にあたっては、運用の指図に関する権限の一部をスミトモ ミツイ DS アセットマネジメント（ホンコン）リミテッドに委託します。</li> <li>・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIアセアンインデックス		株式組入率 株比	投資信託 組入率	純資産額
	期騰	期中落率	(円ベース)	期騰			
10期（2017年7月12日）	円	%	110.60	%	%	%	百万円
11期（2018年7月12日）	13,557	18.3	109.31	△ 1.2	97.6	—	1,255
12期（2019年7月12日）	14,063	3.7	114.90	5.1	92.5	—	1,125
13期（2020年7月13日）	15,115	7.5	88.59	△22.9	92.6	3.8	1,105
14期（2021年7月12日）	11,891	△21.3	96.28	8.7	91.3	4.4	791
	13,626	14.6			95.1	—	833

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮して、前営業日の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCIアセアンインデックス		株 式 組 入 率 比	投 資 信 託 証 券 組 入 率 比
	騰 落 率	(円ベース)	騰 落 率	(円ベース)		
(期 首) 2020年7月13日	円	%		%	%	%
	11,891	—	88.59	—	91.3	4.4
7月末	11,522	△ 3.1	85.23	△ 3.8	90.4	4.4
8月末	11,844	△ 0.4	86.47	△ 2.4	91.6	4.1
9月末	11,389	△ 4.2	81.40	△ 8.1	91.3	4.2
10月末	11,329	△ 4.7	80.89	△ 8.7	91.5	4.1
11月末	12,798	7.6	94.62	6.8	95.1	2.8
12月末	12,917	8.6	95.53	7.8	95.8	1.0
2021年1月末	13,166	10.7	95.63	7.9	96.5	—
2月末	13,618	14.5	98.36	11.0	95.6	—
3月末	14,130	18.8	102.40	15.6	94.2	—
4月末	14,099	18.6	101.25	14.3	94.4	—
5月末	14,018	17.9	100.79	13.8	94.7	—
6月末	13,868	16.6	98.40	11.1	95.2	—
(期 末) 2021年7月12日	13,626	14.6	96.28	8.7	95.1	—

※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2020年7月14日から2021年7月12日まで）

### 基準価額等の推移



期首	11,891円
期末	13,626円
騰落率	+14.6%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCI アセアンインデックス（円ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2020年7月14日から2021年7月12日まで）

当ファンドは、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月上旬から4月上旬まで、ワクチンの普及や米国の政策対応を受けて世界景気の回復期待が高まり、シンガポール、ベトナムなどの株式市場が上昇したこと</li> <li>・ 1月上旬から4月上旬にかけて、米国金利の上昇とともに米ドルおよびアセアン通貨が対円で上昇したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期初から10月にかけて世界的に新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されたこと</li> <li>・ 4月中旬から期末にかけて域内で感染者数が増加したことや米国の金融政策に対する警戒感が高まったこと</li> </ul>

## ▶ 投資環境について（2020年7月14日から2021年7月12日まで）

当期のアセアン株式市場は上昇しました。為替市場は多くのアセアン通貨が円に対して上昇しました。

### 株式市場

期初から10月にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大懸念や米国大統領選挙に対する不透明感から軟調に推移しました。大統領選挙でバイデン新政権の誕生が明らかとなった11月上旬から2021年4月上旬までは、米国の政策対応期待や欧米で先行するワクチン接種の進捗などから、アセアン株式市場も上昇しました。4月中旬以降は、インドネシアやタイなどで感染者数が増加し、景気回復期待が後退したほか、インフレ懸念が高まった米国の金融政策や金利動向に神経質な展開となり、アセアン株式市場は上値の重い展開となりました。

当期の市場の動きをMSCIアセアンインデックス（米ドルベース）で見ると、期首に比べて8.5%上昇しました。

### 為替市場

当期の米ドル・円の動きは、期初から2021年1月上旬にかけて、新型コロナウイルス感染拡大に対応した米国の金融緩和政策が維持されたことなどから、米ドル安・円高が進展しました。その後はワクチン接種の進捗による経済活動の正常化期待や長期金利の上昇とともに米ドルは上昇しました。期を通してみれば米ドル高・円安となりました。

米ドル・アセアン通貨の動きは、期初から1月までは米ドル・円同様に米ドル安傾向で推移しました。その後は、各国の経済回復状況によりまちまちの展開となりました。米ドルが円に対して上昇したこともあり、期を通じてみると、アセアン通貨は概ね対円では小幅に上昇となりました。

シンガポールドル・円は、期首76円89銭から期末81円53銭と4円64銭のシンガポールドル高・円安となり、タイバーツは、期首3円41銭から期末3円37銭と0円04銭のタイバーツ安・円高となりました。

## ▶ ポートフォリオについて（2020年7月14日から2021年7月12日まで）

### 株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

### 国別配分

市場に対する判断では、期初は相対的にベトナム、シンガポール、タイなどを優位と判断していましたが、景気回復ペースなどが緩やかな見込みとなったことや新型コロナウイルスの感染拡大懸念などから、タイについてはウエイトを引き下げました。組入比率では、シンガポール、タイの組入比率を高めとしています。



## 個別銘柄

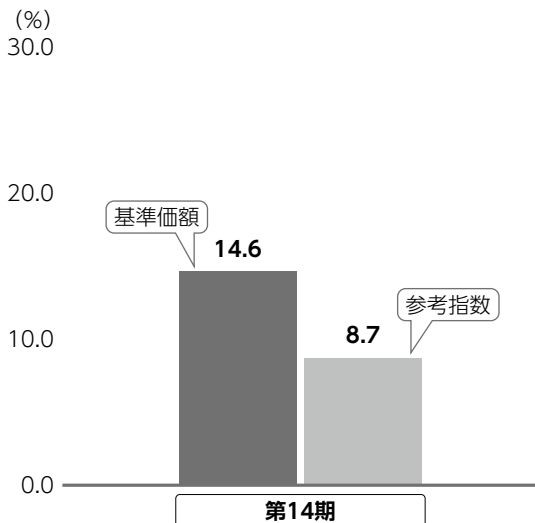
主として、個別銘柄の成長見通しに基づく銘柄選択とともに、世界景気の回復を視野に入れた銘柄入替えを行いました。

シンガポールでは、コロナウイルスの沈静化以降の旅行者の回復を見込み、消費者向けサービスのゲンティン・シンガポールのほか、アジアの主要都市で幅広く人材採用サービスなどを手掛けるHRネットを買い入れました。

タイでは、巣ごもり消費の恩恵の反動が懸念されるサイアム・マクロを売却しました。インドネシアでは、感染再拡大など国内の景気の立ち直りの遅れから、最大の自動車メーカーのアストラ・インターナショナルを売却しました。

## ▶ ベンチマークとの差異について (2020年7月14日から2021年7月12日まで)

## 基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCI アセアンインデックス（円ベース）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 2 今後の運用方針

足もとのアセアン諸国の経済は、変異ウイルスの感染拡大やワクチン接種の進捗状況に国によって差異があります。今後は全体感として、各国・地域でも接種が進展し、経済・社会活動の正常化を見込みます。企業業績は2020年の落ち込みから回復途上にありますが、今後もそのトレンドが維持される見込みであり、株式市場は業績の伸びに沿って上昇する予想を維持します。

国別配分については、ベトナム、シンガポール、マレーシアに相対的に強気な姿勢を継続します。引き続き銘柄選択においては、競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンス（企業統治）を備えた銘柄を厳選いたします。

## アセアンマザーファンド

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2020年7月14日から2021年7月12日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	47円 ( 46) ( 1)	0.367% (0.356) (0.010)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	12 ( 12) ( 0)	0.096 (0.094) (0.002)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	61 ( 61)	0.477 (0.477)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用
合 計	120	0.940	

期中の平均基準価額は12,891円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
 ※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。  
 ※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2020年7月14日から2021年7月12日まで)

#### (1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	シンガポール	百株 10,484	千シンガポールドル 1,493	百株 3,287	千シンガポールドル 1,024
	マレーシア	19,380 ( 4,699)	千マレーシアリングgit 4,932 ( 153)	23,921 ( -)	千マレーシアリングgit 4,886 ( 157)
	タイ	11,400 ( 23)	千タイバーツ 26,399 ( 82)	14,662	千タイバーツ 23,969
	フィリピン	15,279	千フィリピンペソ 8,203	10,155	千フィリピンペソ 16,831
	インドネシア	124,718 ( 15,161)	千インドネシアルピア 10,053,022 ( -)	143,335	千インドネシアルピア 14,158,644
	ベトナム	637 ( 61)	千ベトナムドン 3,686,335 ( 0.00026)	776	千ベトナムドン 7,892,216
国					

※金額は受渡し代金。

※( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## アセアンマザーファンド

### (2) 新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外国	マ レ ー シ ア	証券 — (32,360)	千マレーシアリンギット — ( 7)	証券 — (16,180)	千マレーシアリンギット — ( 3)

※金額は受渡し代金。

※( )内は権利付与、権利行使および権利行使期間満了等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

### (3) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	シンガポール	MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	—	口 千シンガポールドル —	74,100	口 千シンガポールドル 218
		KEPPEL DC REIT	—	—	87,498	247
	合 計		—	—	161,598	465

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年7月14日から2021年7月12日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	919,998千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	782,628千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	1.17

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2020年7月14日から2021年7月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年7月14日から2021年7月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

# アセアンマザーファンド

## ■ 組入れ資産の明細 (2021年7月12日現在)

### (1) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価	額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(シンガポール)	百株	百株	千シンガポールドル	千円	
SINGAPORE TECHNOLOGIES ENG	696	616	242	19,787	資本財
SBS TRANSIT LTD	598	—	—	—	運輸
DBS GROUP HOLDINGS LTD	195	236	699	57,069	銀行
SINGAPORE EXCHANGE LTD	—	265	295	24,111	各種金融
CAPITALAND LTD	852	786	295	24,095	不動産
HAW PAR CORP LTD	226	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITED OVERSEAS BANK LTD	256	217	558	45,539	銀行
VENTURE CORP LTD	137	82	155	12,648	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	—	947	214	17,449	電気通信サービス
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	947	—	—	—	電気通信サービス
FRENCKEN GROUP LTD	—	1,524	274	22,365	資本財
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	300	300	357	29,130	銀行
FIRST RESOURCES LTD	—	1,000	134	10,925	食品・飲料・タバコ
SHENG SIONG GROUP LTD	1,475	—	—	—	食品・生活必需品小売り
GENTING SINGAPORE LTD	—	2,485	208	17,018	消費者サービス
HRNETGROUP LTD	—	4,068	290	23,713	商業・専門サービス
NANOFILM TECHNOLOGIES INTERN	—	353	201	16,462	素材
小 計	株 数 銘柄数 <比率>	5,682 10	12,879 13	3,928 —	320,316 <38.4%>
(マレーシア)			千マレーシアリンギット		
CIMB GROUP HOLDINGS BERHAD	1,180	—	—	—	銀行
TIME DOTCOM BHD	—	484	680	17,915	電気通信サービス
PENTAMASTER CORP BHD	—	1,021	511	13,466	資本財
ORIENTAL HOLDINGS BERHAD	800	—	—	—	自動車・自動車部品
IGB BHD	3,557	2,630	531	13,991	各種金融
IGB BHD RTS	—	1,162	152	4,010	各種金融
TENAGA NASIONAL BHD	270	—	—	—	公益事業
GLOBETRONICS TECHNOLOGY BHD	3,361	—	—	—	半導体・半導体製造装置
UCHI TECHNOLOGIES BERHAD	2,600	3,574	1,086	28,604	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
PUBLIC BANK BERHAD	473	2,365	960	25,278	銀行
EXCEL FORCE MSC BHD	—	5,033	274	7,221	ソフトウェア・サービス
MMS VENTURES BHD	8,545	—	—	—	資本財
MY EG SERVICES BHD	—	3,805	627	16,528	ソフトウェア・サービス
SCIENTEX BHD	—	1,204	497	13,091	素材
INARI AMERTRON BHD	—	2,974	918	24,193	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BERMAZ AUTO BHD	3,309	—	—	—	小売
小 計	株 数 銘柄数 <比率>	24,095 9	24,253 10	6,240 —	164,301 <19.7%>
(タイ)			千タイバーツ		
SIAM MAKRO PUBLIC CO-NVDR	1,138	—	—	—	食品・生活必需品小売り
KASIKORN BANK PUBLIC COMPANY LTD-NVDR	—	170	1,938	6,531	銀行
BANGKOK BANK PUBLIC CO LTD-NVDR	335	335	3,517	11,853	銀行

## アセアンマザーファンド

銘柄	株数	期		末		業種等
		期首(前期末)	株数	評価額	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ELECTRICITY GENERATING PCL -NVDR	113	—	—	—	—	公益事業
ADVANCED INFO SERVICE-NVDR	301	261	4,423	14,908	電気通信サービス	
PTT PUBLIC COMPANY LIMITED- NVDR	2,220	2,001	7,453	25,119	エネルギー	
HAAD THIP PCL-NVDR	—	799	2,836	9,558	食品・飲料・タバコ	
LAND AND HOUSES PUBLIC CO LTD-NVDR	—	5,704	4,506	15,185	不動産	
SIAM CEMENT PUBLIC CO LTD (THE) -NVDR	168	101	4,242	14,295	素材	
AIRPORTS OF THAILAND PCL -NVDR	876	571	3,440	11,593	運輸	
CENTRAL PATTANA PUBLIC CO LTD- NVDR	553	994	5,044	17,000	不動産	
BANGKOK DUSIT MED SERVICE -NVDR	1,713	1,377	3,304	11,137	ヘルスケア機器・サービス	
ERAWAN GROUP PCL/THE-NVDR	7,622	—	—	—	消費者サービス	
CP ALL PCL-NVDR	1,037	1,149	6,922	23,329	食品・生活必需品小売り	
BTS GROUP HOLDINGS PCL-NVDR	3,572	—	—	—	運輸	
ASIASOFT CORP PCL-NVDR	—	2,417	3,480	11,729	メディア・娯楽	
PTT GLOBAL CHEMICAL PLC-NVDR	—	530	3,100	10,448	素材	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	19,648 12	16,409 13	54,211 —	182,691 <21.9%>	
(フィリピン)				千フィリピンペソ		
AYALA LAND INC	1,377	1,081	3,891	8,562	不動産	
BANK OF PHILIPPINE ISLANDS	780	—	—	—	銀行	
SM INVESTMENTS CORP	54	—	—	—	資本財	
BDO UNIBANK INC	371	263	2,941	6,471	銀行	
D&L INDUSTRIES INC	—	6,361	5,343	11,756	素材	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	2,582 4	7,705 3	12,176 —	26,791 <3.2%>	
(インドネシア)				千インドネシアルピア		
PT UNITED TRACTORS TBK DISTRIBUTES	500	—	—	—	エネルギー	
PT BANK RAKYAT	5,655	6,501	2,470,380	18,774	銀行	
PT BANK CENTRAL ASIA TBK	1,897	1,322	3,979,220	30,242	銀行	
PT ASTRA INTERNATIONAL TBK	3,227	—	—	—	自動車・自動車部品	
TELKOM INDONESIA PERSERO TBK PT	5,200	5,200	1,643,200	12,488	電気通信サービス	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	16,479 5	13,023 3	8,092,800 —	61,505 <7.4%>	
(ベトナム)				千ベトナムドン		
GEMADEPT CORPORATION	—	500	2,000,000	9,584	運輸	
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	306	0.12	1,044	5	食品・飲料・タバコ	
JSC BANK FOR FOREIGN TRADE	468	169	1,855,620	8,892	銀行	
SAIGON CARGO SERVICE CORP	—	137	1,837,170	8,803	運輸	
VINHOMES JSC	284	174	1,967,625	9,428	不動産	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	1,059 3	981 5	7,661,459 —	36,713 <4.4%>	
合計	株数・金額 銘柄数 <比率>	69,545 43	75,251 47	— —	792,319 <95.1%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## アセアンマザーファンド

### (2) 外国新株予約権証券

銘	柄	期首(前期末)	期 末		
		証 券 数	証 券 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(マレーシア)		証券	証券	千マレーシアリングット	千円
SCIENTEX BERHAD-WARRANT		—	16,180	19	523
合 計	証 券 数 ・ 金 額	—	16,180	19	523
	銘 柄 数 <比 率>	—	1	—	<0.1%>

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

### (3) 外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)	期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		組 入 比 率
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(シンガポール)		口	口	千シンガポールドル	千円	%
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST		74,100	—	—	—	—
KEPPEL DC REIT		87,498	—	—	—	—
合 計	口 数 ・ 金 額	161,598	—	—	—	—
	銘 柄 数 <比 率>	2	—	—	—	<—%>

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## ■ 投資信託財産の構成

(2021年7月12日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
	792,319	95.1
新 株 予 約 権 証 券	523	0.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	40,479	4.8
投 資 信 託 財 産 総 額	833,321	100.0

※期末における外貨建資産（833,198千円）の投資信託財産総額（833,321千円）に対する比率は100.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=110.17円、1シンガポールドル=81.53円、1マレーシアリングット=26.3269円、1タイバーツ=3.37円、1フィリピンペソ=2.2003円、100インドネシアルピア=0.76円、100ベトナムドン=0.4792円です。

## アセアンマザーファンド

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年7月12日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>833,321,484円</b>
コーポレーション等 株 式(評価額)	38,928,253
新株予約権証券(評価額)	792,319,875
未 収 配 当 金	523,942
1,549,414	1,549,414
<b>(B) 純 資 産 総 額(A)</b>	<b>833,321,484</b>
元 本	611,581,958
次 期 繰 越 損 益 金	221,739,526
<b>(C) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>611,581,958口</b>
1万口当たり基準価額(B/C)	13,626円

※当期における期首元本額666,032,306円、期中追加設定元本額20,932,180円、期中一部解約元本額75,382,528円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は、アセアン成長国株ファンド611,581,958円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ お知らせ

＜約款変更について＞

該当事項はございません。

### ■ 損益の状況

(自2020年7月14日 至2021年7月12日)

項 目	当 期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>23,268,648円</b>
受 取 配 当 金	23,268,731
支 払 利 息	△ 83
<b>(B) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>95,284,719</b>
売 買 益	157,084,447
売 買 損	△ 61,799,728
<b>(C) 信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 3,996,958</b>
<b>(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)</b>	<b>114,556,409</b>
<b>(E) 前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>125,932,769</b>
<b>(F) 追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>9,067,820</b>
<b>(G) 解 約 差 損 益 金</b>	<b>△ 27,817,472</b>
<b>(H) 計 (D + E + F + G)</b>	<b>221,739,526</b>
次 期 繰 越 損 益 金(H)	221,739,526

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。